令和７年度　市政アンケート調査
第２回結果報告(概要版)

１．市政アンケート調査の概要

（1）目的	①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。 ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
（2）調査対象者	福岡市内に居住する満18歳以上の市民636人（就任時） ①選考方法：住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼 ②任期　　：令和7年4月4日から令和8年3月31日まで
（3）調査方法	【案内：郵送・メール、回答：郵送・インターネット】
（4）調査主体	福岡市　市長室　広聴課

２．第2回調査の概要

（1）調査時期	令和7年6月25日から7月9日まで
（2）調査対象者数	631人
（3）回答者数	544人
（4）有効回答率	86．2%
（5）調査テーマ	①「ふくおかさん家のうまかもん」について ②「福岡市の屋台」について ③「脱炭素社会の実現に向けた取組み」について ④「福岡市の保健福祉の取組み」について ⑤「福岡市の下水道事業」について

３．注意点

（1） 各設問の母数（調査の元になる数）は、（N＝）または（n＝）で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある（N＝）の数字となります。

（2） 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。

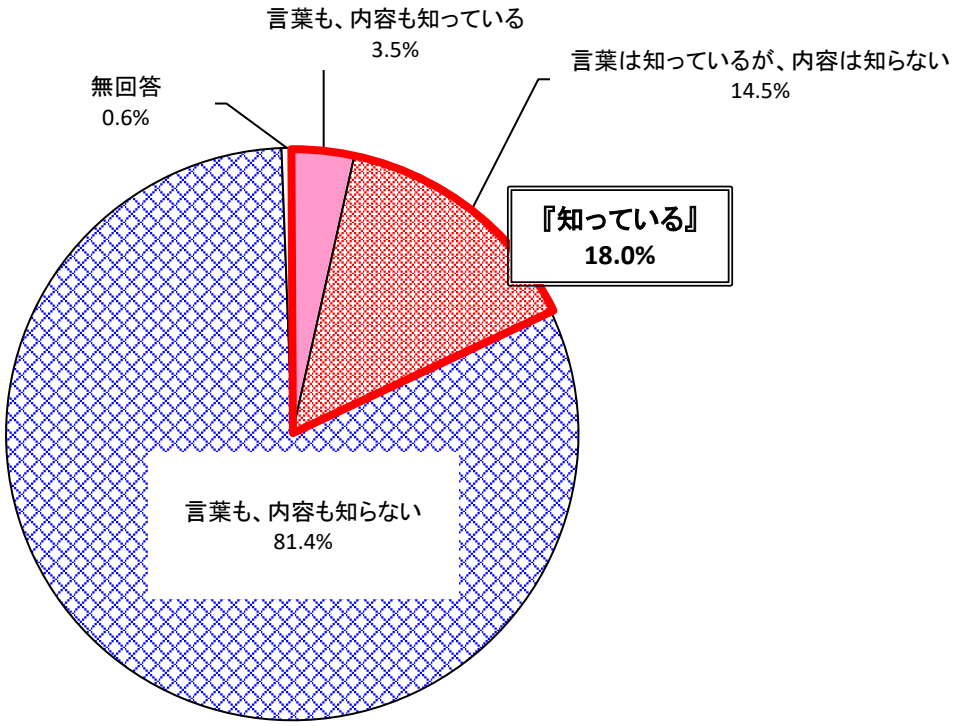
（3） 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。

（4） 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

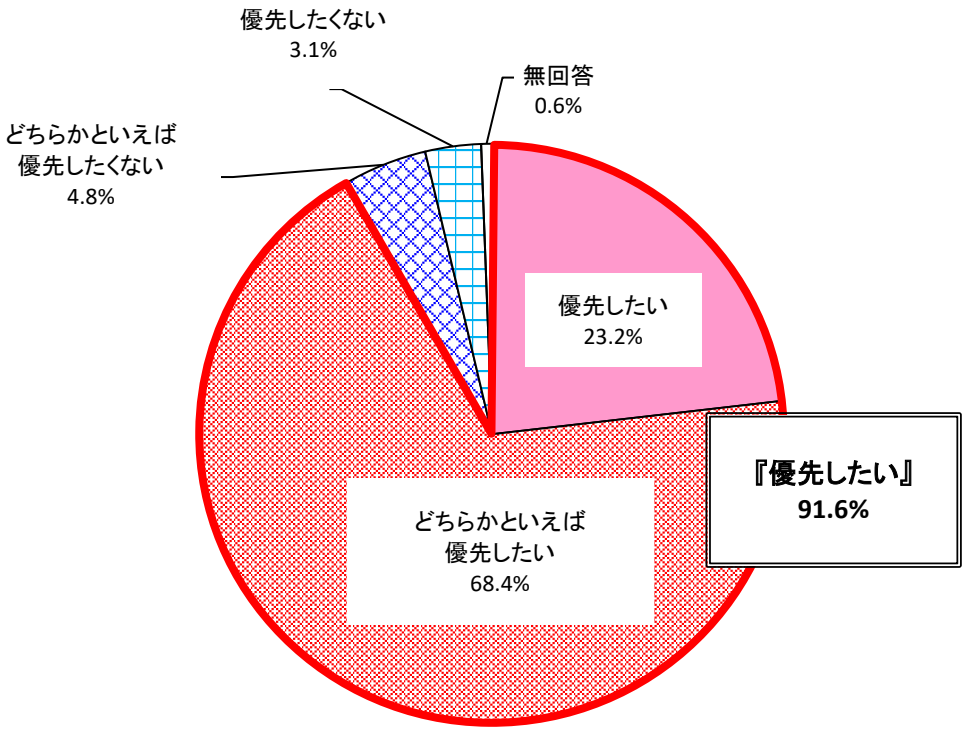
①「ふくおかさん家のうまかもん」について（N=544）

※『　』は2つ以上の選択肢を合計して表したもの
例:『優先したい』＝「優先したい」＋「どちらかといえば優先したい」

≪「ふくおかさん家のうまかもん」を知っていたか≫

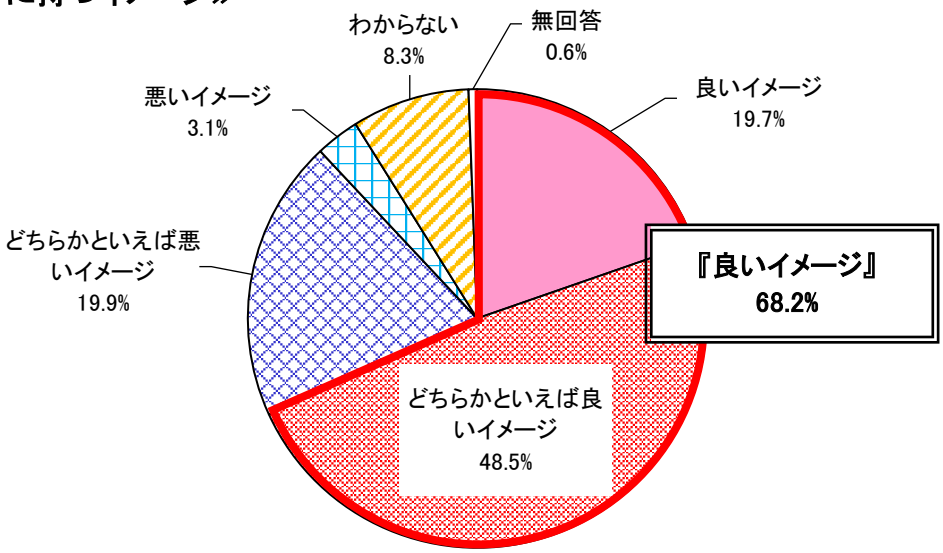


≪今後、農林水産物・その加工品の購入時や飲食店利用時に、市内産を優先したいか≫

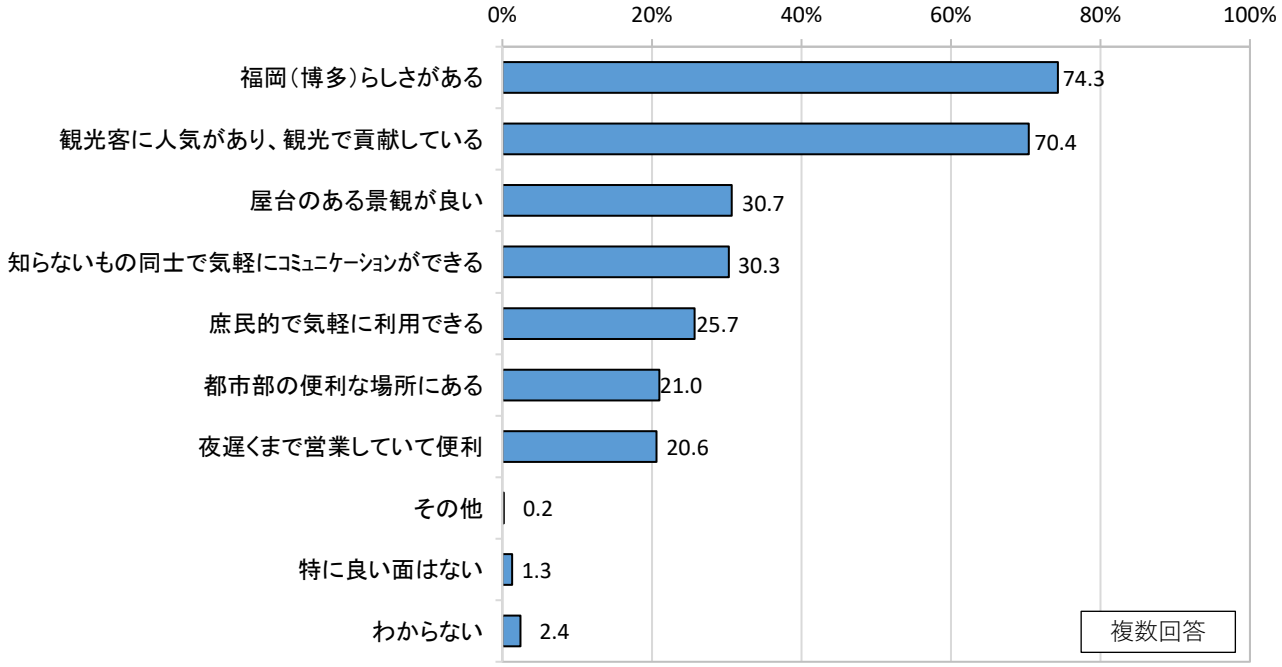


②「福岡市の屋台」について（N=544）

≪屋台に持つイメージ≫



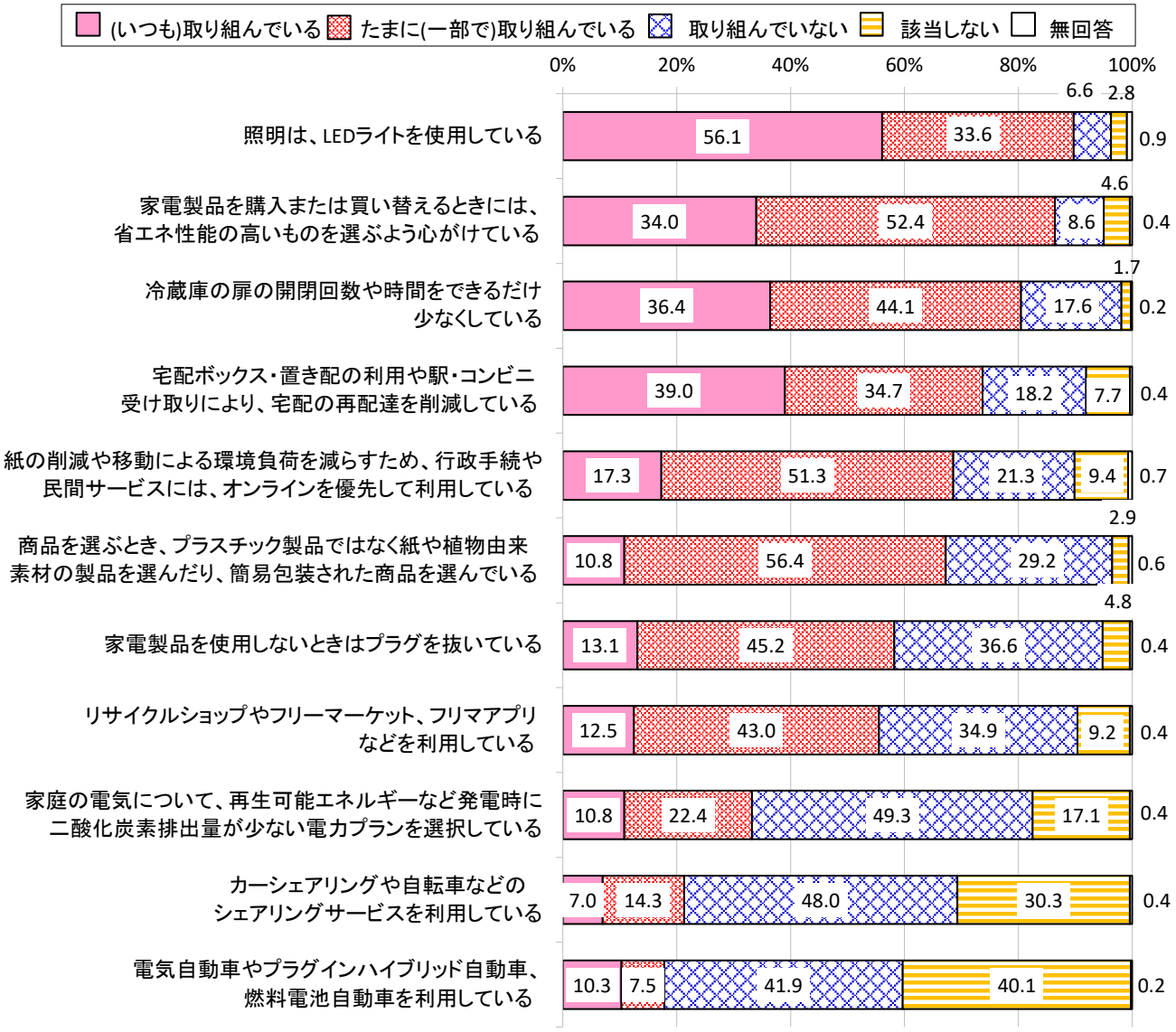
≪屋台の良いと思うところ≫



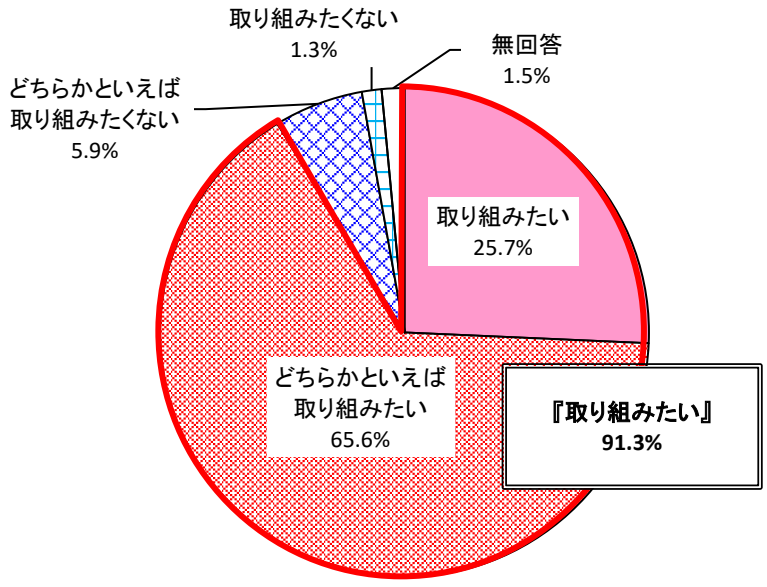
「福岡（博多）らしさがある」と回答した方が74.3%と最も多く、次いで「観光客に人気があり、観光で貢献している」と回答した方が70.4%となりました。

③「脱炭素社会の実現に向けた取組み」について（N=544）

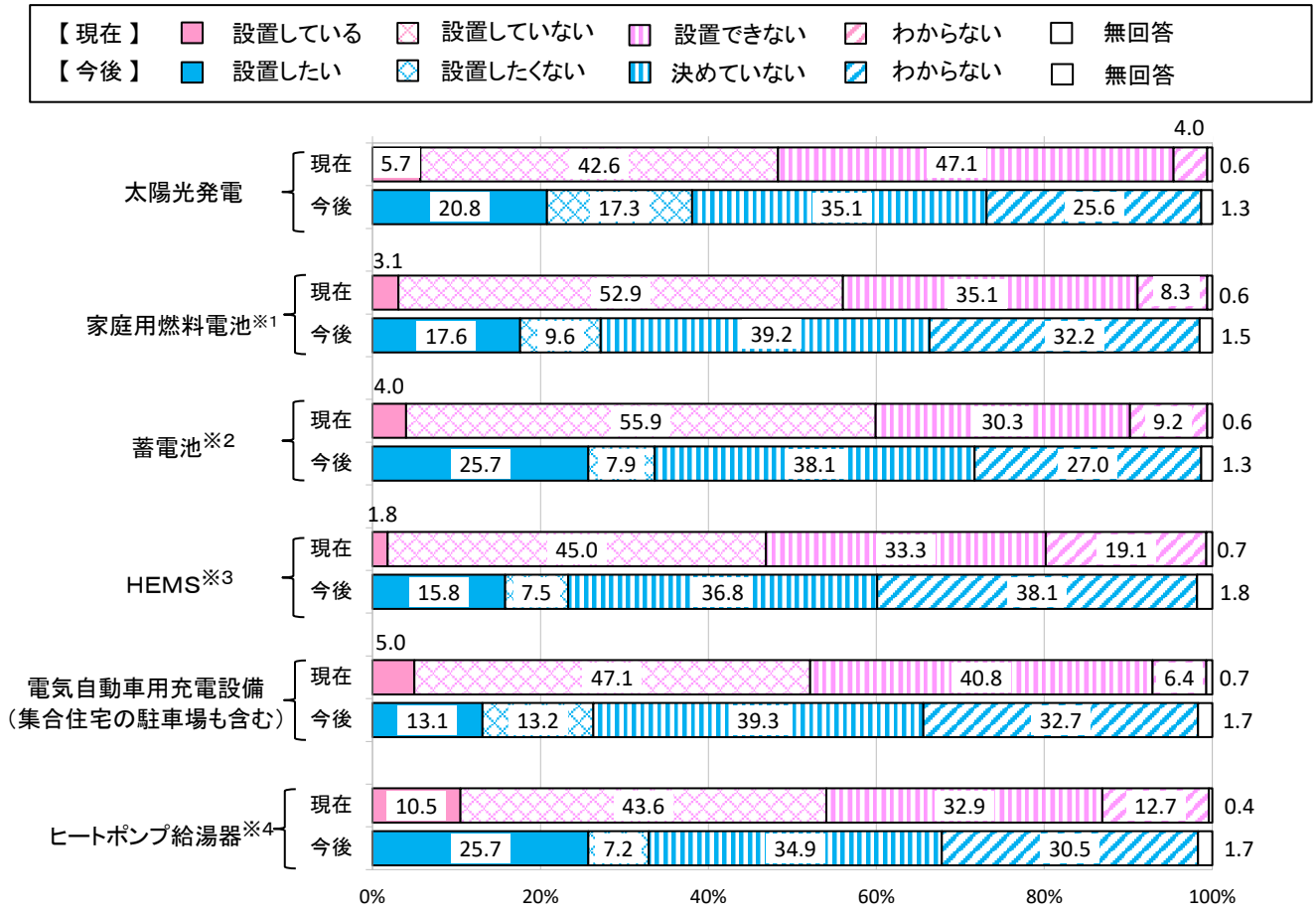
≪脱炭素行動について≫



≪脱炭素行動に取り組みたいと思うか≫

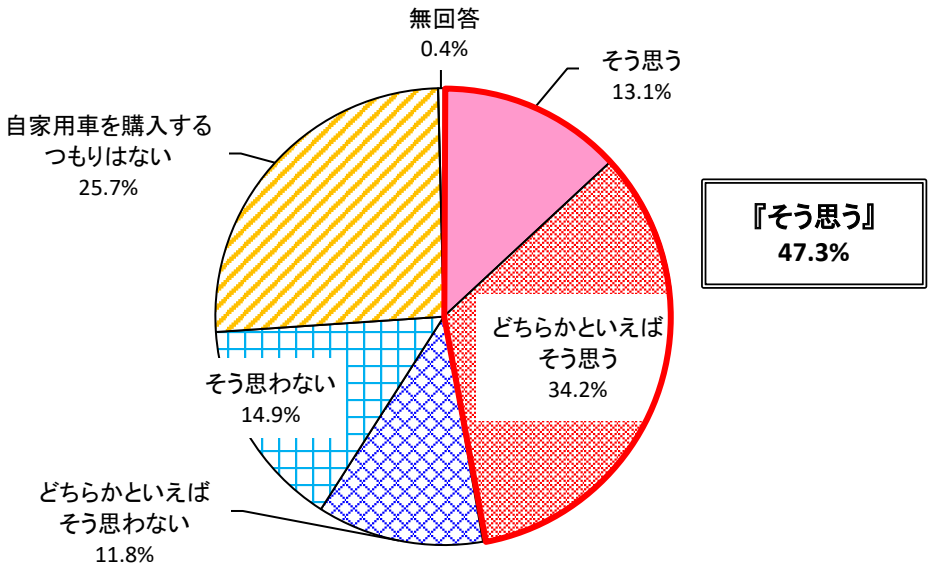


≪省エネ・再エネ設備の設置状況と今後の設置意向≫



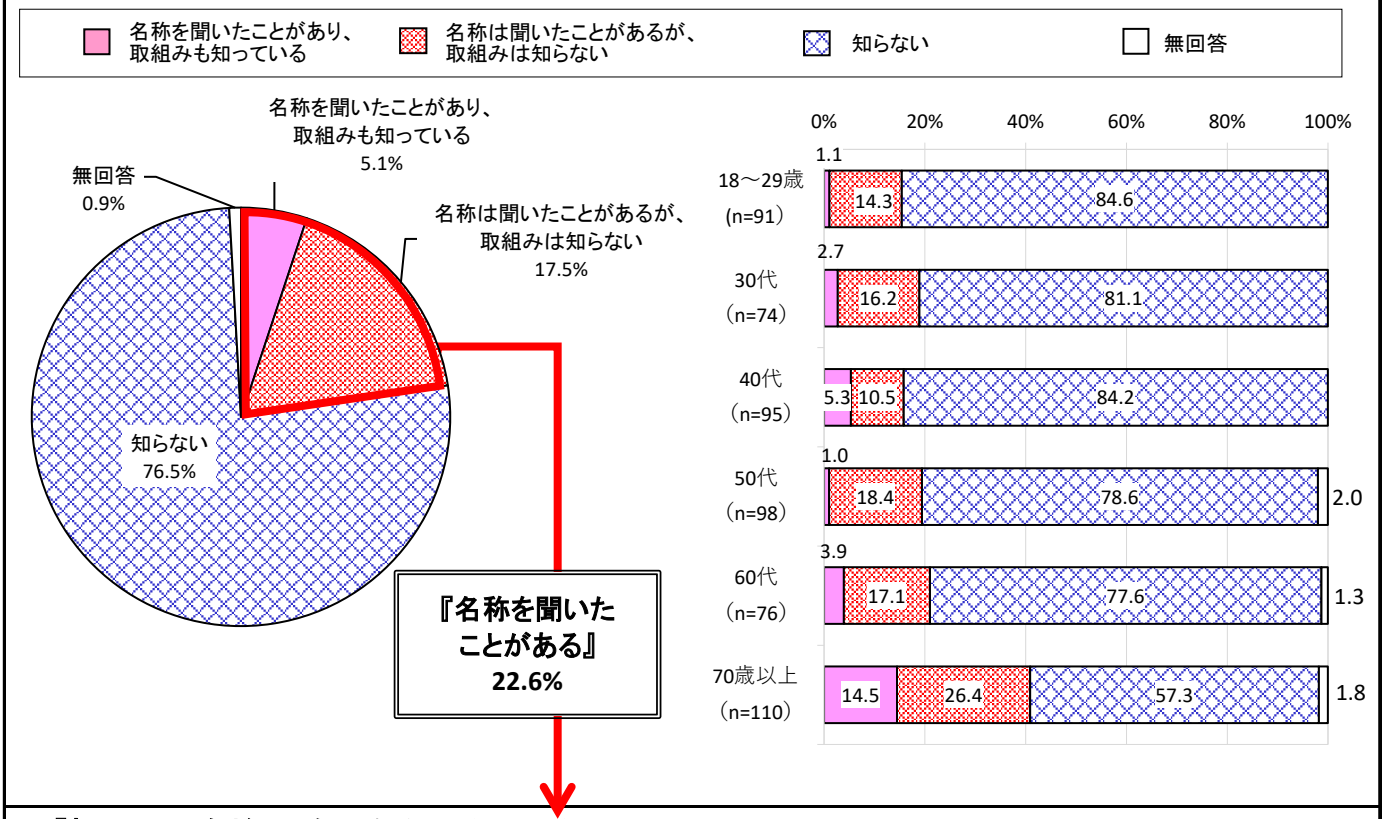
※１　家庭用燃料電池（エネファーム）
　　：ガスから水素を取り出して発電と給湯に利用する機器
※２　蓄電池
　　：電気を蓄えておき、必要なときに電気を使うことができる機器
※３　ＨＥＭＳ（ホーム エネルギー マネジメント システム）
　　：電気の使用状況の確認や、照明や空調などの電気機器の制御をする戸建用システム
※４　ヒートポンプ給湯器（エコキュート）
　　：空気の熱を利用し、わずかな電気を使い効率的にお湯を沸かす機器

≪自家用車の購入・買い替え時に、電気自動車やプラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の購入を検討しようと思うか≫

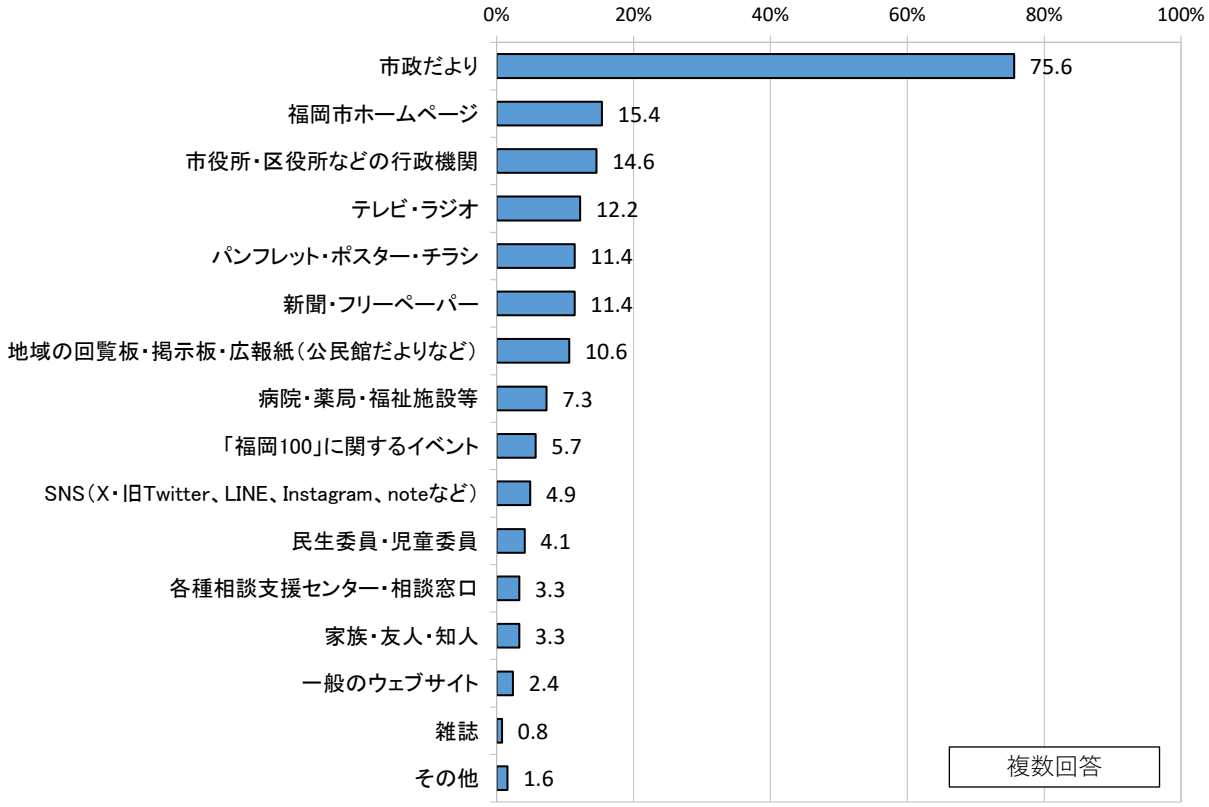


④「福岡市の保健福祉の取組み」について（N=544）

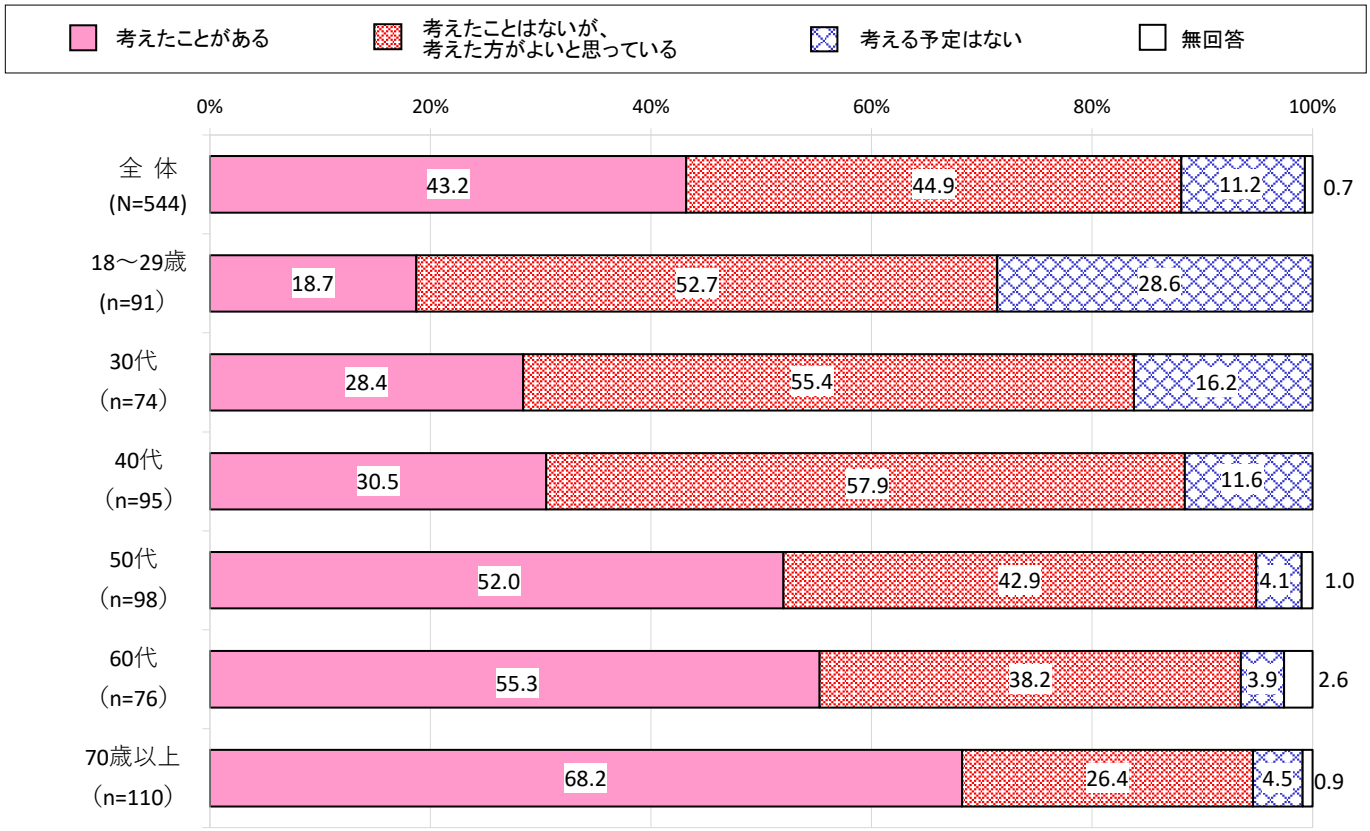
≪「福岡100」を知っているか≫



≪「福岡100」をどこで知ったか≫（n=123）

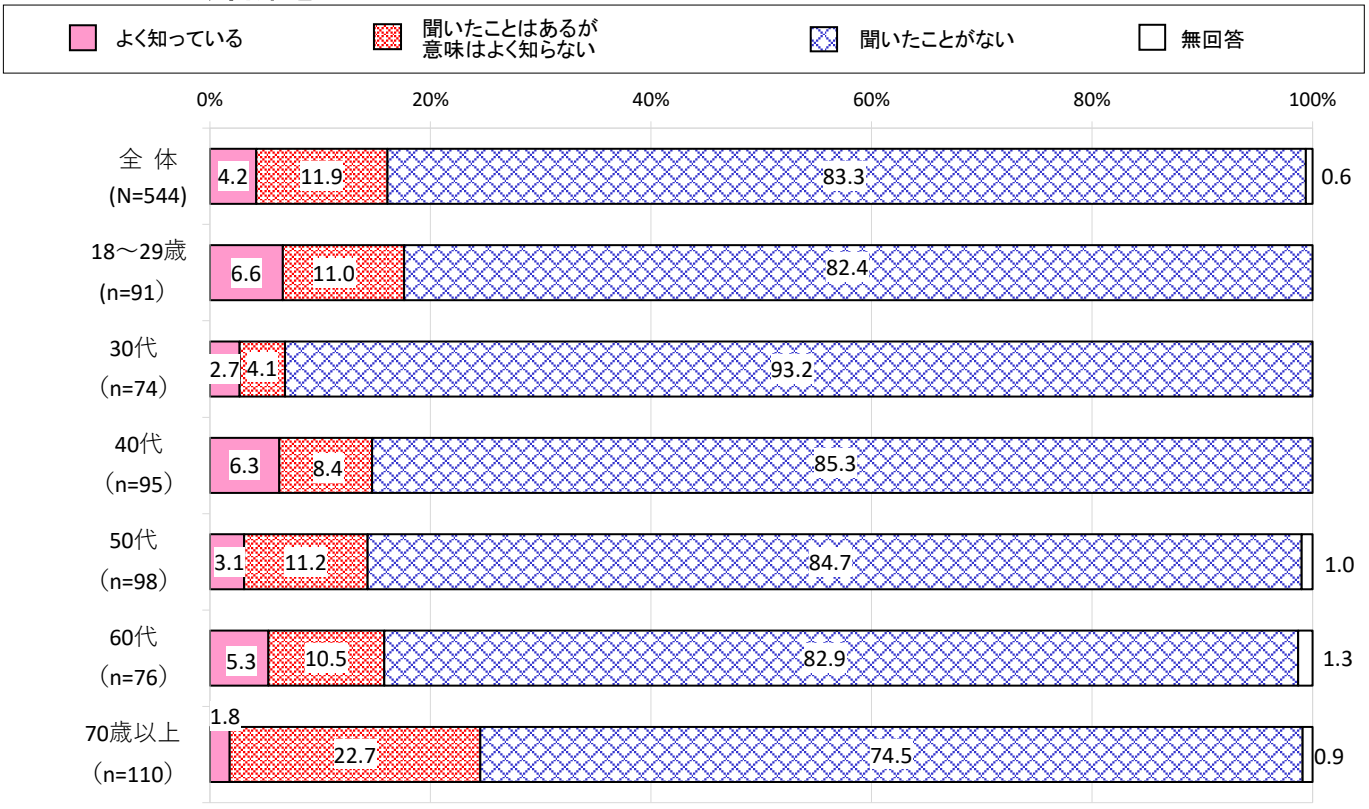


≪終活について考えたことがあるか≫



終活について『考えたことがある』と回答した方は全体の43.2%でした。年代別にみると70歳以上で最も高く、68.2%となりました。

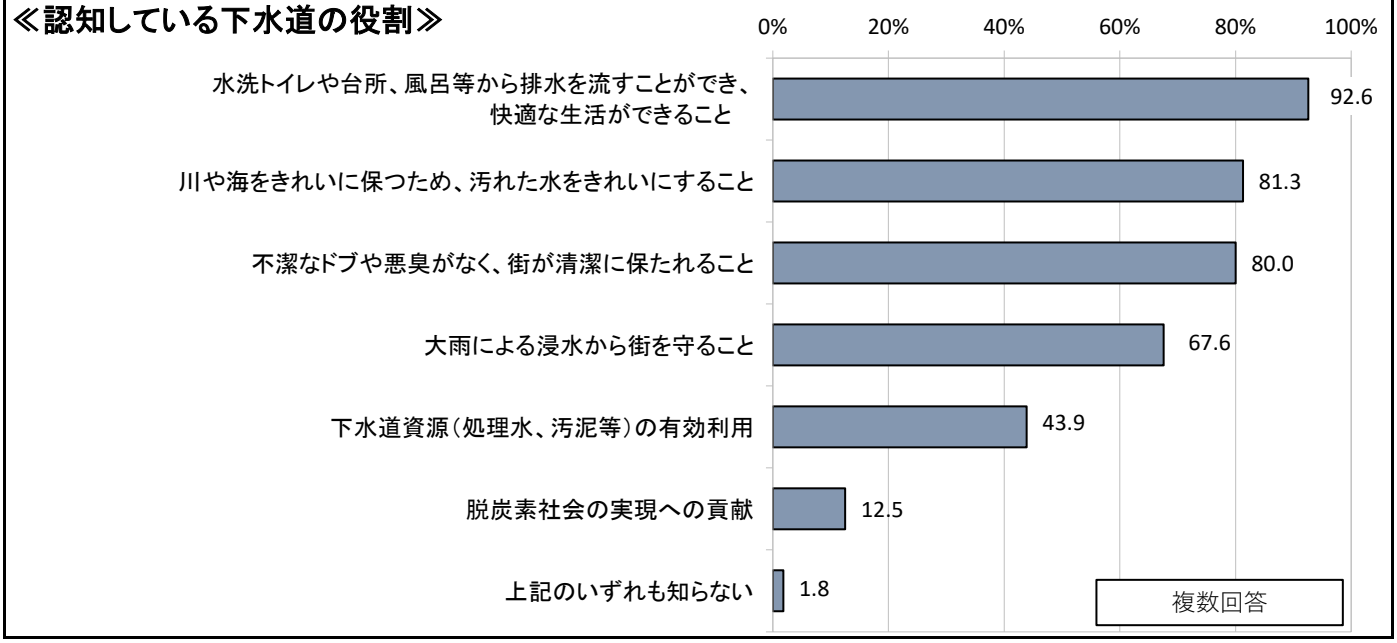
≪ACP※5という言葉を知っているか≫



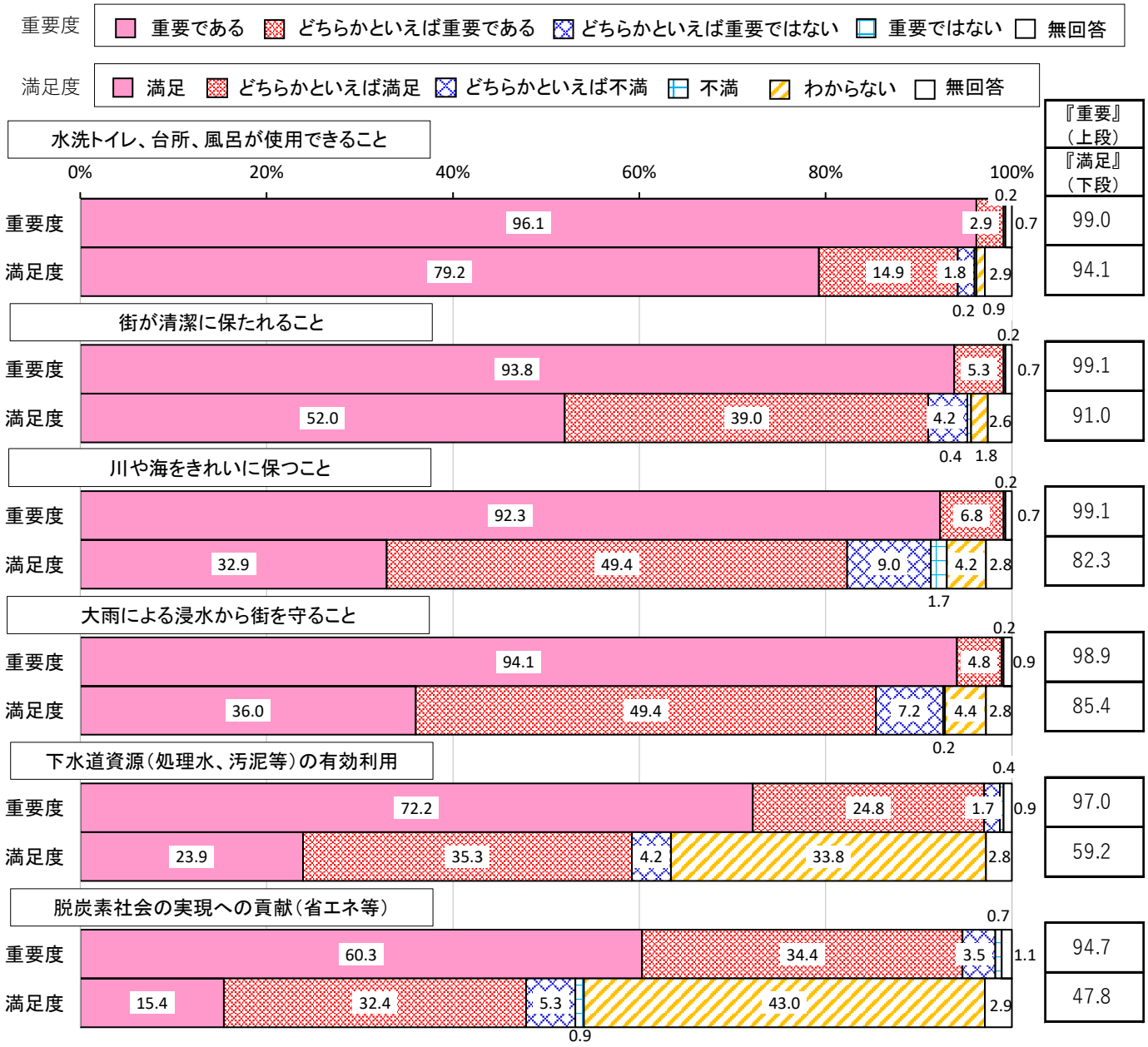
※5　ＡＣＰ（アドバンス・ケア・プランニング）
もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有しておくことです。

⑤「福岡市の下水道事業」について（N=544）

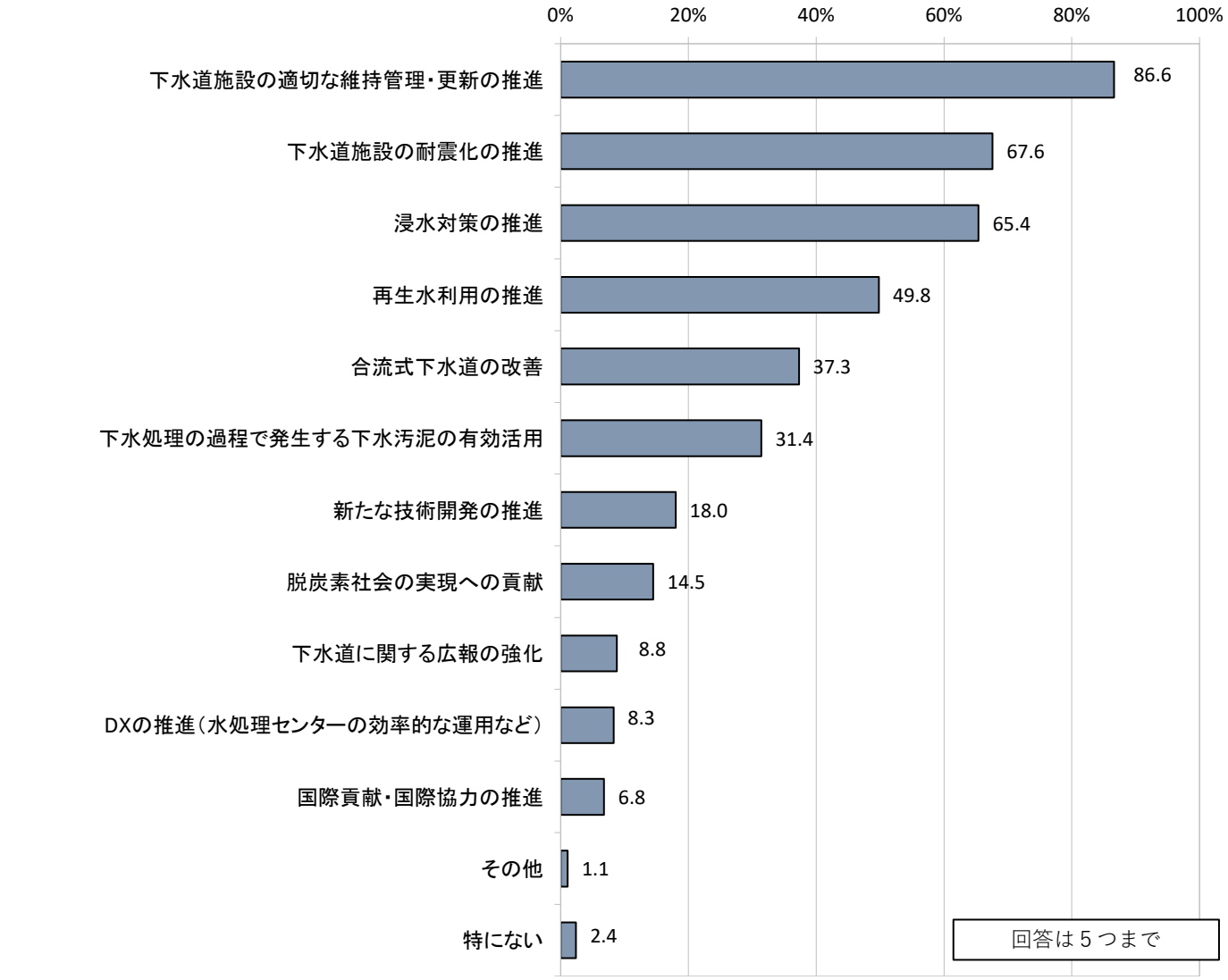
≪認知している下水道の役割≫



≪福岡市の下水道による役割について≫

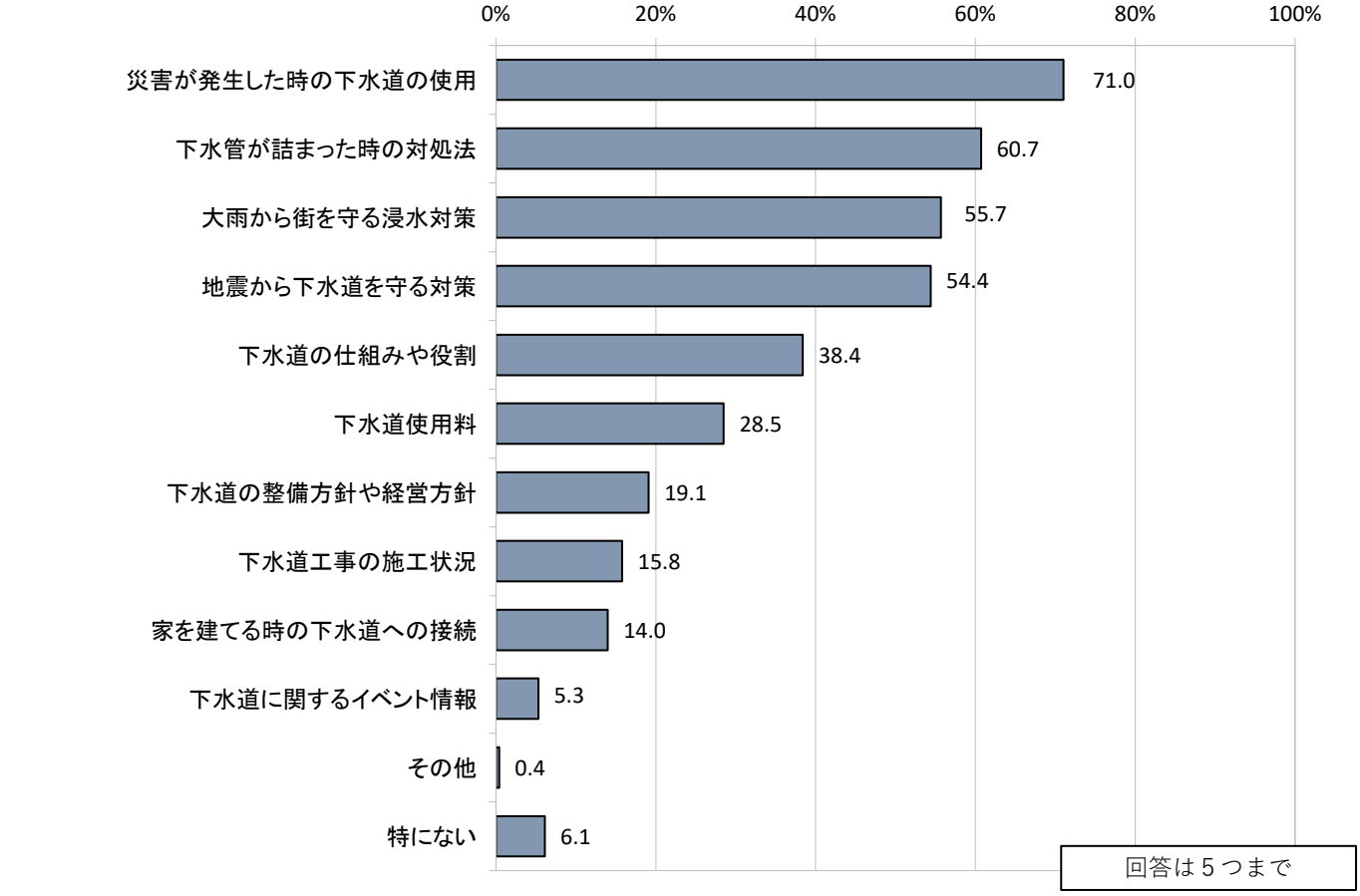
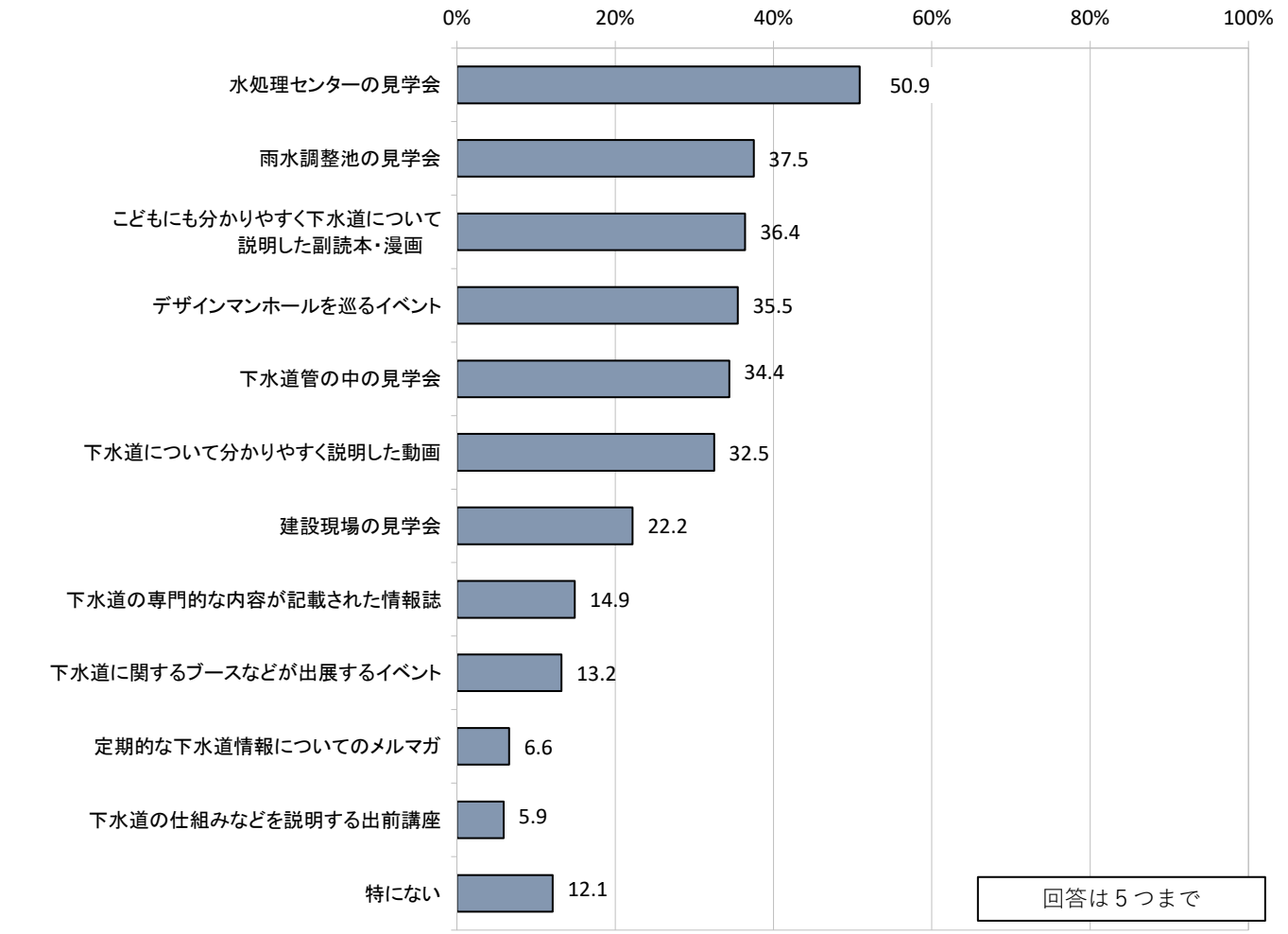


≪今後下水道事業で力を入れていくべき施策≫



「下水道施設の適切な維持管理・更新の推進」と回答した方が86.6%と最も多く、次いで「下水道施設の耐震化の推進」と回答した方が67.6%となりました。

≪下水道について知りたい情報≫



≪興味を持つ下水道の広報（イベント含む）≫